

LIXIL 交換用ガススプリングセット(SA型) 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

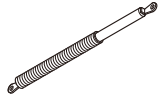



注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 施工終了後はネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗装で補修してください。

■梱包明細表

【1】交換用ガススプリング

名 称	略 図	員 数
ガススプリング		1
【1-1】ウェーブワッシャー		2
取付説明書〈F225〉	—	1

1. ガスプリングの交換方法

※本図は右側を示します。左側も同様の手順で交換してください。

注意

- ガスプリングは高圧ガスシリンダーです。叩くなどの衝撃を加えたり分解する行為は、絶対に行なわないでください。破裂するなど思わぬケガをするおそれがあります。

表1-1 交換時の作業手順

取外しの手順		取付けの手順	
① 上部の取外し	➡	③ 下部の取付け	➡
② 下部の取外し	➡	④ 上部の取付け	

ポイント

- 交換時の作業手順については表1-1を参照してください。

ポイント

- 「M8ガスプリング専用段付きボルト」、「M8バネ座金」、「d8.2×D18×t1.6ガスプリング専用平座金」、「M8六角ナット」は取付け時に使用しますので無くさないようにしてください。

- ①図1-1を参照してガスプリングを取外してください。
- ②図1-1を参照してガスプリングを取付けてください。

補足

- 【1-1】はガスプリングに同梱されています。

ポイント

- ガスプリングの上下の向きと、取付け面の向きを間違えないように注意してください。シリンダー(黒い筒)が上側で、A面がM8六角ナット側を向きます。(図1-2、図1-3参照)
- ピストンロッドとシリンダー(黒い筒)を、伸び切った状態で回転させないでください。内部にキズが付き、ガス抜けの原因になります。回転させる場合は、ピストンロッドを圧縮した状態で行なってください。
- ガスプリングの伸び縮みする部分には注油しないでください。故障の原因になります。

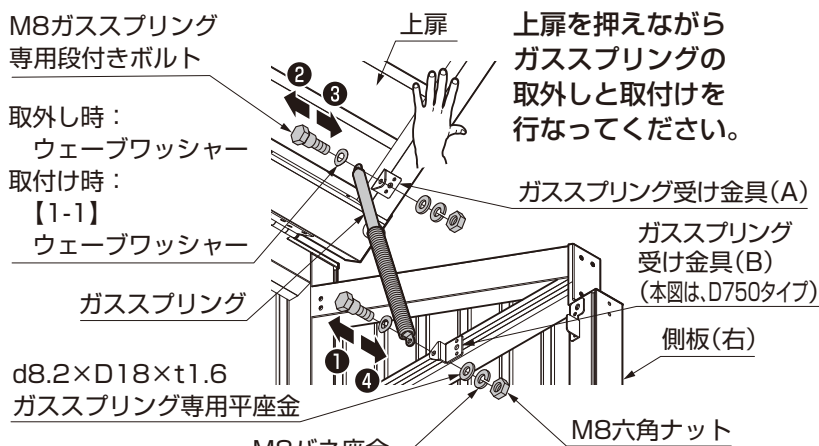


図1-1

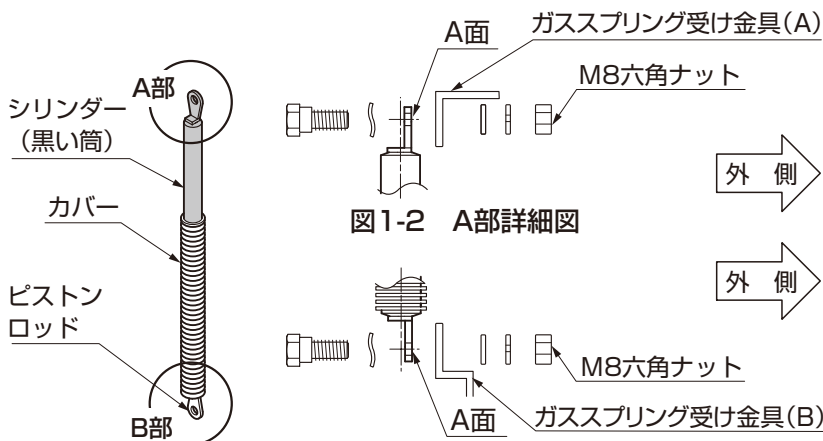


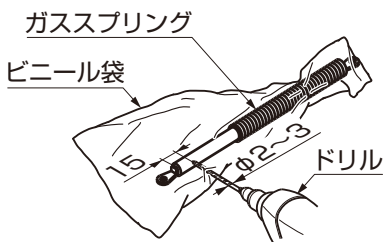
図1-3 B部詳細図

2. 使用済みガスプリングの廃却方法

注意

- 廃却する場合は、必ずガスを抜いてください。ガスを抜かずに廃却すると、爆発によりケガをすることがあります。
- ガス抜きは、保護メガネをかけて、下記手順に従って行なってください。手順に従わないと、油や切粉が飛び散り危険です。
- 作業は、内部の油が床にこぼれても大丈夫な場所で行なってください。

- ①ガスプリングにビニール袋をかぶせ、その外側からφ2~3mmのドリルで穴を開けてガスと油を抜いてください。



取説コード

F225

JZ2619861C
201001A_1041
201607D_1048